

未来バンク

すべての人がおカネに意志を持たせる社会にする

ニュースレター 第7号 2021年12月

【コンテンツ】

1. 田中優
2. 木村瑞穂の金融コラム
3. 奈良由貴
4. 総会開催報告
5. 融資先紹介：社会福祉法人 野花会

田中 優 理事長

Tanaka Yū



「チェンジ」は掛け声だけなのか

イギリスのグラスゴーで、国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）が開催された。残念ながら日本は全く後退的で、ただひたすら逃げの言い訳をしているだけのように見える。

EUを真似て2035年にガソリン車の新車販売禁止にするとしたが、EV(電気自動車のこと、以下同じ)限定にされて他の可能性を潰しそうだ。これはまるですべての問題を、「電気というブラックボックス」に隠して、見えにくくさせているだけのようだ。それが証拠に日本最大の二酸化炭素排出源である「エネルギー転換部門」、平たく言うと「発電所」に対する規制はないに等しい。それが問題にされると、「発電時に二酸化炭素を出さない原発(それ以外では膨大に出すし、

発電効率が低すぎて話にならない)」の復活として、ごまかせなくなるからだろう。あの高くて危険で未来のない原子力だが、関係者の利権だけ大きなものだからだ。

EUに学ぶのであれば、EU議会で賛成多数で可決した「農場から食卓戦略」(Farm to Fork Strategy, F2F戦略)を学んでほしい。小規模農場からの食料自給を推進しながら、さらにエネルギー自給までを構想している。たとえば廃食用油からのバイオ燃料だってエネルギー資源だし、その可能性は思うよりも広いのだから。そしてドイツで原発の発電効率を「熱の10%しか電気を生み出せない」として極めて効率の悪いものだとして認めている。

EV化は悪くすると、ガソリンをそのまま燃やすより悪化させるかもしれない。なぜなら発電工程などの仕組みを複雑化させるほど、エネルギー効率は下がるからだ。その中で見るべき技術は「日産ノートEパワー」の、ガソリンを発電のためだけに使うもので、エネルギー効率を51%を越えることに成功している。それともう一つ、マツダの「スカイアクティブ技術」によるクリーンディーゼル車で、公害を出さないで高い燃費のクルマを作り、しかもバイオ燃料による走行も成功させている。無理にEV車だけに未来を絞るより、地球温暖化防止の可能性を高めるのではないか。

そこで日本政府が推奨する「水素、アンモニア」の混焼による温暖化対策は、実際には、東南アジアや北米、ロシア、オーストラリアの天然ガスや褐炭を使う。ちっとも化石エネルギーの利用削減につながっていない。ここでもまた、温暖化対策を「電気というブラックボックス」に押し込めただけのことではない。水素はそのままの形で自然界に存在するものではないのだから、必ず何らかのエネルギーを加えて作るものだ。水素自動車開発のために、水素を貯蔵できるタンクの制作に成功したことは画期的だが、そこから燃料電池で電気を生み出そうとしても、熱ばかり発生して電気になるのはせいぜい40%だ。それなら「日産ノートEパワー」の方に軍配が上がる。

10月30日に衆院選の選挙があった。どこでも選挙となると、「チェンジ」という掛け声を聞くが、その実ちっとも「チェンジ」しない。これはお囃子のような掛け声なのだろう。このまま何も変わらぬまま地球温暖化は進み、「電気」というブラックボックスに入れられたまま良いことを進めた気持ちのまま絶望の未来を迎えるだろう。自然エネルギーは推進されたはずだった。しかし実質使える電気にはならず、送電ロスなどのロスばかりに消えてしまった。根本が誤っているからだ。電気は地域で生んで地域で使うべきものだった。

「米エネルギー大手ビストラは全米最多クラスの

36基の天然ガス発電所を有しているが、これ以上は発電所を買収または建設する予定はない。代わりにテキサス州とカリフォルニア州で太陽光発電所と蓄電池に10億ドル以上を投資し、新技術によって変貌しつつある電力業界で生き残るため、事業の転換を図る意向だ」という記事がアメリカのウォールストリートジャーナル誌の記事に載った。あの投資にシビアなアメリカで、一番安いはずの天然ガスの発電すら、投資しても資金回収のできない「座礁資産」になる可能性があると考えられたのだ。この記事は2021年5月19日付のもので、今からはるか前の記事だ。

天然ガス発電所ですら、アメリカでは投資対象としてふさわしくないものと考えられたのだ。それから半年近く経つのに日本では、相変わらず発電所建設のリスクどころか原発すら射程に入れている。投資という視点から見ても、この国はほど遠く遅れている。日本こそチェンジが必要なのに、人々は旧態依然の政党を選んだのだ。

日本はチェンジすらできないのかもしれない。とにかく必要なのは学ぶことだろう。しかも不正、ごまかしだらけの学問ではなく、一から自分で考えて作る学びだ。来年度は65歳で普通なら定年年齢となるというのに、二つの大学から非常勤講師の依頼を受けた。まだ必要と言われるなら引き受けようと思う。その理由は腐ってしまうような学び方をしていないからかもしれない。

世界が大きく変わらなければならない時代に、まだ必要と言ってもらえるなら光栄なことだ。地域で電気を自給する時代に向けて、もう少し頑張ろう。それは何より大きな地球温暖化に対する対策になるのだ。

早く来てほしい、チェンジが必要なんだと人々が納得して動き始める時代が。

木村瑞穂

Kimura Mizuho

「あれもスキャンム(いかさま) これもスキャンム」

■銀行が自動販売機になる日

本稿は前回のニュースレターの「銀行が自動販売機になる日」の続きである。詳しくはそちらで確認していただきたいが、簡単におさらいをする。

仮想通貨の最大の特徴はプログラム可能な通貨という点だ。といってもわからないだろう。銀行という自動販売機があって、仮想通貨を投入口に入れると、お金を預けたり借りたりすることができる。銀行員や店舗が不要なのでコストが安い。その分預金金利は高くなるし、融資金利は低くなる。

■自動販売機の秘密

仮想通貨はこのようにイノベーションをもたらすものだが、それだけで流行っているわけではない。

この自動販売機は、お金を預けてくれた人やお金を借りてくれた人におまけの仮想通貨を配っている。このおまけのことを「サギコイン」と呼ぼう。

このサギコインは自動販売機が勝手に発行しているだけなので、本質的には何も価値がない。しかし、取引所に持っていくと価格がついていて売ることができる。その分預金金利は高くなるし、借り入れ金利は低くなる。借り入れ金利がゼロになることもある。

預けたお金を担保にして金を借り、それを預けてまた借りる。何度も繰り返すとどんどん利息が増えていく。

■養分投資家

なぜこんなことが起こるかという、仮想通貨なら何でも値上がりすると勘違いして買い漁る投資家がいるからだ。彼らは「養分投資家」と呼ばれる。

自動販売機はサギコインを際限なく発行するし、自動販売機のユーザーはどんどん売却するので、サギコインは当然値下がりする。自動販売機のユーザーは大儲けで、養分投資家は損をする。

しかし、養分投資家は懲りない。新しい自動販売機ができる度に同じことが繰り返される。これから仮想通貨に

投資しようと考えている人はよく注意してほしい。

■不思議な既視感

滑稽なことではあるが、不思議な既視感がある。銀行でお金を借りたことのある人なら気づいているかもしれないが、銀行が貸してくれるのはお金ではなく、銀行が発行した預金である。自動販売機が発行するサギコインと本質的には同じだ。

銀行は預金者から預かったお金を貸し付けると説明されることが多いが、それは真っ赤なウソだ。銀行は「無」から生み出した預金を貸し付けて利息を取っているのだ。

金融の教科書では「信用創造」と呼んでいるが、簡単にいうとサギだ。もう少しマイルドに表現すると、銀行の持っている既得権だ。既得権の分だけ銀行員の給与は高くなる。

■スキャンム(いかさま、サギ)

仮想通貨の世界はサギに溢れているため、この世界で長く生きている投資家はサギに敏感だ。彼らは、いかさまやサギのことを「スキャンム」と呼ぶ。

こうした投資家の目から見ると、現実の世界もスキャンムだらけに見える。国家なんかスキャンムさ、会社なんかスキャンムさ。そうつぶやきながら会社を辞め、国境を越えて移動し続ける人は少なくない。

現実の世界を普通に生きるためには、スキャンムに騙されないことはもちろん重要だが、スキャンムと知りつつも、その中で賢く生きることが必要だ。

■たった一つスキャンムでないもの

私も会社を辞めて海外に移住した。最近子供も生まれた。スキャンムだらけの世界ではあるが、たった一つスキャンムでないものを見つけた。

泣き叫ぶ子供を静めようと抱きしめていたとき、これはスキャンムではないと感じた。そうあってほしいという願望に過ぎないことは知りつつも。

融資先の活動紹介

社会福祉法人 野花会



▷ 「ちびくろ保育園」、「神戸こども総合専門学院」

■「子どもに自由を！」求めて48年

現在私たちの法人は、都会の真中に小さな「ちびくろ保育園」と、六甲山の山の中に保育士・幼稚園教諭養成校の「神戸こども総合専門学院」を運営している。一方はコンクリートジャングルの都会にあり、片方は猪が出没する程自然豊かな所であるというのが不思議である。

乳幼児は自然の中でこそ豊かな成長を成しとげる。戦後育ちの私は明石っ子で、家の前に大きな田んぼと小川があった。夏は海で朝から泳いでいた。だが、昭和60年代になると、田んぼは埋められて倉庫になり、海岸はコンクリートブロックが並べられ、泳げる所は限られるようになってしまった。高度経済成長とは、子どもの自然性を抑圧する結果を招いた。

今朝の民放が、トンボが一匹も姿を見せなくなった山陰地方で、その原因が農薬のネオニコ使用であることが判り、有機農法に替えたところ、トンボや水虫生物が戻って来た結果として、トキが大空を舞うようになったと報告している。

有機農法は人手のかかる農法で、農家等ではとまどいがあることは判る。しかし、農薬のかかった食物が乳幼児に被害を与えていることは明らかである。神戸大学のマウスの実験から広汎性発達障害や自閉症への影響が懸念されている。

2000年の昔、イエスの周囲に子どもたちが群がるのを弟子たちが追い払うことをしかりつけ、「神の国に最も近いのは、子どもたちである」と言ったという。今の昔も、大人は子どもの「自由」を規制するか抑制してやまない。子どもに早くから字を教えたりして早く大人に育てようとする。



▷ 野花会は、2013年に未来バンクの融資を受け「神戸こども総合専門学院」の屋根に48kWのソーラーパネルの発電所を設置。現在も元気の稼働中です。

当園は、都会の中にあるけれども、子どもたちは終日泥遊びをし、狭い庭ではあるが走り廻り、冬はたき火で焼きいもをし、ラグビー等もする。そして、毎日近所の公園に出かけて行き、ダンゴ虫やミミズ等を捕まえて帰ってくる。

自由な遊びが子どもの創造性を育てる。先日の運動会に卒園生がプロの太鼓芸能集団「鼓童」で実力をつけ、新潟から神戸に帰って来て見事な響きを子ども達に聴かせてくれた。

私は、元来が理系の人間で、子どもの頃の夢は博士になることだった。模型飛行機、三段ロケットを造り、空に憧れた。長じては外資系の会社のシステムエンジニアをするかたわら、第5世代コンピューターを考えた事もある。

その様な人間が、それらの世界を捨てて子どもの世界に導かれたのは、妻の嘆きの言葉だった。子どもは4人産まれたが、その子どもたちが家の前の公園では遊ばないで、直ぐに家の中に入りゲームに興ずるのを見て「子どもが遊んでいない」と私に訴えたからである。

「子どもは遊ぶもの」と考えてきた私には驚きだった。確かに妻の言う通りである。九州の田舎の豊かな自然の中で育った彼女の目から見れば、自分の子が「遊ん

でない」というのが判る。私も田んぼに入り、おたまじゃくしやゲンゴロー、カエルを追いかけ、ヤンマやシオカラトンボを終日追いかけた日々があった。

だが、残念な事に、目の前の児童公園にあるのは鉄のブランコ、すべり台と砂場。一つとして「生命力」のあるものは皆無である。指摘されて初めて心にストーンと落ちるという事は、何かに気が奪われていたのだ！それは、子どもの世界を忘れ、大人の世界の幻想に心が奪われていたのだ。

3か月苦しんだ挙句会社を辞め、無許可の保育園を48年前に始める事になった。「子どもに自由を！」を念頭に歩んで来たが、思えばこの狭い世界の中での自由を子どもにようやく保障してきただけではなかったかと、悔しさがこの文章を書きつつ湧き上がって来る。

今出来る事はその悔しさを 一公園に小さな田んぼを造り、虫やトンボの飛び交う構想一つも実現できなかった— 若い学院の学生や卒園生たちに伝えて行く事ではないかと腹を決め、短い文章の締めとしたい。

社会福祉法人 野花会 田中英雄

■ 神戸こども総合専門学院 体験型オープンキャンパス

2022年1月16日（日）

2022年2月13日（日）

2022年3月13日（日）

平日の見学も可能です。ホームページまたは

お電話(078-591-5879)にてお問い合わせください。

■ 学校紹介動画



<https://www.youtube.com/watch?v=VNrW6TG9pTg>

Open Campus

オープンキャンパス



<http://kobe-kodomo.ac.jp/open-campus/>

©野花会WEBサイトから

2020年度定期総会を開催しました

未来バンクは、2021年9月26日に定期総会を開催しました。

全出資口数 1億9600万9593口、出席口数（議長委任、その他委任、書面議決承認を含む）1億3908万8567口、全体の71.0%で過半数を超えたため総会は成立し、また全議案について承認されたことをご報告します。

<決議事項>

- ・議案第一号 2020年度事業報告決算報告の承認
- ・議案第二号 2021年度事業計画の承認
- ・議案第三号 音信不通による組合員の脱退
- ・議案第四号 定款の変更

<ご意見や質疑応答>

○融資限度額について

上限1,000万と記憶していましたが、2020年度の融資実績に天然住宅1,500万とありました。関連会社の特別措置ですか？あるいは限度額が上がりましたか？

回答）融資規則では、「理事会等が特別決裁をした場合には、前2項の上限を超えて融資をすることができます。」と定めており、案件に応じて、金額や期間を調整しています。

○議案第四号 定款の変更

定款第5条の変更案、組合員（組合員の構成員を含む）の構成員とはどのような人を想定、定義されているのか。また、変更第6条の2の特別組合員とは上記構成員以外にも考えているのでしょうか？

回答）新規融資事業の開発にあたって、他団体と有効に提携するため。提携する他団体から議決権のない出資をもらい、それを担保に融資をすることを想定しています。かつての未来舎（未来バンク事業組合の融資部門）ではこのスキームでの提携実績があります。

○2020年度の人件費24万円が2021年度はゼロのようです。何か変わったのでしょうか？

回答）人件費は事務局活動費に含まれています。活動費から交通費、会議室代、証明書等の諸費用、を引いたものを、人件費として支出しています。

○総会資料以外に、もっと具体的な活動について知りたい。

A) 年2~3回のニュースレター（まぐまぐ、ホームページ）の配信で、融資先や出資者の活動紹介をしています。出資者・団体が受けた取材記事や、イベント開催情報など、より多くの情報を発信できるよう改善していきます。



▷オンライン総会の様子

○自分が亡くなった場合、子どもに組合員変更し、相続できますか。または、未来バンクに寄付するのでもできますか。

回答）定款第10条（相続加入）で下記のように定めています。

第10条 死亡した組合員の相続人で第6条に定める組合員になるための資格を有する者は、その組合員死亡の日から1年以内に、第7条（加入の申し込み）に準じた加入の申し込みをすることができます。

2 前項の規定により加入の申し込みをした者は、理事会の承諾を得た場合、相続開始の時に組合員となったものとみなす。

3 被相続人の持分につき、第8条第1項並びに本条第1項及び第2項の要件を満たす限り、これを数名の相続人により任意の割合で分割して相続することを妨げない。

4 第1項の申し込みを行うときは、持分を相続しない相続人全員の同意書を添付することを要する。

5 前4項並びに第16条第4項及び第5項の規定にかかわらず、組合員死亡の日から30日以内に持分を相続した相続人から書面による申出があった場合には、理事会の議決により年度途中においても30万円までの持分の払戻しを行うことができる。なお、当該払戻しを行った後、残額がある場合には、第16条第4項の規定により事業年度末に残額の払戻しを行うものとする。

○意見交換会参加者様の声

・お金がまわりまわって、私たちの暮らしを豊かにしてくれる。その可能性に魅せられ出資しました。普段は会社員だが、何かお手伝いできることあればと思い参加しました。

・昔、融資をしてもらった経験があります。山奥に暮らしているが、ZOOMなので参加させてもらいました。今でも融資してもらった時のことをよく覚えています。お店に来てくださり、人々とのつながりを感じました。また機会があれば借りたいです。

奈良由貴

Nara Yuki

本の紹介

地球温暖化—電気の話と、私たちにできること— 田中優著

未来バンク理事長、田中優（以後「優さん」と書かせていただきます！）の新刊本です。2007年にも同じ「地球温暖化」というタイトルで新書を出していますが、今回、巻頭の「はじめに」で、優さんは「前著では、解決策を明瞭に打ち出すことができなかった。その悔しさをこの本で晴らしたいと思う。」と書いています。その解決策とは、優さんや活動を共にしている人々がすでに実行している「電気」と「土」のことなのです。

■上位下達の送電網から自由になろう

電気の話は、既存の送電線に頼らずに地域で発電と蓄電をしよう！というものです。日本の発送電の仕組みは一般家庭に大きな負担を強いる収益構造になっています。この硬直した仕組みをそのまま使う再エネ普及だけでは、結局大手の電力会社や原発に依存した政府のエネルギー計画など変えることはできない。それだけではなく、日本卸電力取引所に多くの電力を売っている大手電力会社が意図的に電力供給の操作をすれば、再エネを利用したいと新電力会社に切り替えた一般家庭にとんでもない電力料金の請求が来てしまう、と書かれています。

現在、太陽光パネルは一昔前より効率が良くなりコンパクトに軽量になりました。バッテリーの性能も値段も市民が使いこなせるくらいになり、送電線から電気を買うより、地域で小規模に再生可能エネルギーを発電・蓄電してそのまま使う方が、電気料金が安い時代になっているのです。個人や地域でのオフグリッドのエネルギー自給が全国的に広がっていけば原発も火力発電も必要なくなり、大手電力会社や政府のエネルギー政策を変える力にもなるでしょう。オフグリッドにするのが難しい集合住宅でも、ベランダなどで発電・蓄電すれば部分自

給ができます。それは、送電線からの高い電気の使用量を減らすことにもなり、万が一の災害時にも大きな安心につながりますね。お得になって安心してきて温暖化対策になる、一石三鳥であります。もちろん、パネルやバッテリーの購入にはそれなりのお金が必要ですから、そこは未来バンクの出番なのではないかと思っています。電気を自給する融資へのスキームを検討していく話を理事会で進めています。



地球温暖化／電気の話と、私たちにできること|書籍詳細|扶桑社 (fusosha.co.jp)

■植物と土壌を大切にして、温暖化を防ぐ

そして土の話です。人間が放出し過ぎた二酸化炭素を吸収してくれるのは海洋と陸地ですが、海洋はすでに飽和状態。陸地で何とかするための手法を提示してくれています。人類は、経済成長の名のもとに森林と土壌を壊し続けてきました。

森林資源を生かして炭素貯金を進めよう。炭の利用で微生物が元気に活動する豊かな土壌で、植物の力を取り戻そう。そのための具体的な取り組み方が紹介されています。そして、その行動が温暖化問題解決の早道になるという話なのです。

今回紹介されていた「4パーミル(0.4%)の炭素を土壌に増やす」話は、初めて知りました。あまり日本では報道されていませんが、COP21のパリ協定採択の時にフランスが提案したものだそうです。いずれにしても「土」の話は目から鱗です！詳しくは、ぜひ著書で確認してください。

電気と土については、未来バンクニュースレターの読者には、優さんのレポートなどでおなじみの話かもしれませんが、気候危機に関する国際情勢などの詳しい情報と新たな視点が盛りだくさんです。また、二つのコラムも必読の内容。すぐにでも取り組める気候危機へ行動が提案され、未来に対して前向きな心持ちにさせてくれること間違いなしです。

未来バンクとは

市民が組合員となって出資していただいた資金を、環境・市民事業・福祉の目的に関して、市民やNPO団体・法人が起こす社会的有用性の高い事業や取り組みに対し「融資」という方法で支援することを目的に設立された、市民による市民のための非営利バンクです。

出資者のみなさまの夢のこもったお金を通じて、想いと人をつなぎ、住みよい未来を育てていきます。

融資実績

融資累計件数：438件 融資累計額：約14億38百万円（2021年11月時点）

2021年7月～11月 融資件数：0件（3件問い合わせあり）

融資の申し込みをご検討の方は、ウェブサイト内の「融資を受ける」をご覧ください。お問い合わせをお待ちしています。

<https://mirai-bank.org/loan/>



未来バンクの趣旨にご賛同いただける方は、出資をご検討ください。詳細はウェブサイト内の「出資・応援する」をご覧ください。

<https://mirai-bank.org/investment/>



未来バンクニュースレター 第7号

発行・編集：未来バンク事務局

発行日：2021年12月



未来バンク

連絡先：〒132-0033

東京都江戸川区東小松川3-35-13-204

市民共同事務所「市民ファーム」内

TEL/ FAX：03-3654-9188

HP：<https://mirai-bank.org/>

MAIL：info@mirai-bank.org